



下肢静脈瘤レーザー治療のご紹介

みなさま、次のような症状はありませんか？



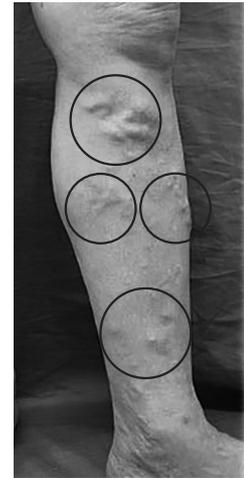
- 脚がよくむくむ
- 脚がだるい、疲れやすい
- 頻繁に脚がつる（こむら返りを起こす）
- 脚の血管が浮き出ている
- 脚に皮膚の変色や潰瘍がある
- 脚のかゆみが気になる

1つでも当てはまったら、それは下肢静脈瘤が原因かもしれません。

◆下肢静脈瘤とは

静脈の弁が壊れて血液が逆流し、脚の静脈が《コブ》のように拡張する病気です。

下肢静脈瘤が直接、命に関わる可能性は低いですが、脚がだるい、疲れやすいなどの慢性的な症状が続くため、日常生活に支障をきたすことが多いです。自然治癒の可能性はほとんどなく、ひどくなると皮膚の変色や皮膚の潰瘍がでたりします。



◆レーザー治療とは

数ミリの針穴にレーザーファイバーを挿入し、逆流している静脈を閉塞させて血流の逆流をなくす治療法です。レーザー治療は根治性が高く、副作用も少ないです。また、傷跡が小さくほとんど目立ちません。当院では1泊2日の入院にて治療を行っています。

◆PL病院での治療実績

当院では、いち早く下肢静脈瘤のレーザー治療を取り入れて実施してきました。2012年から現在まで、約400人の患者様にレーザー治療を受けていただいています。

◆治療までの流れ

下肢静脈瘤の症状が疑われる方は、外科を受診してください。
超音波検査やCT検査をさせていただき、下肢静脈瘤レーザー治療の適応の有無を判断します。
治療適応の場合は、1泊2日で入院していただき、IVRセンターで治療を行います。
治療は下肢静脈瘤血管内レーザー治療の実施医・指導医が担当させていただきます。
その他何かご不明な点などございましたら、外科外来までお問い合わせください。

